

「伝染性紅斑（りんご病）」が、発生しています。

● 次のような症状が見られたら、早めに受診を！

- 軽いかぜ症状の後に、頬が赤くなったり、手足に網目状の紅い発しんがでたりする
- ほてりや軽いかゆみ、痛みを感じることもある



●もし、伝染性紅斑（りんご病）と診断されたら…

かかりつけの医師に相談してください。

【登所(園)のめやす】 全身状態がよいこと



(発しんがでた時にはすでに感染力がなくなっています。)

こども家庭庁：保育所における感染症対策ガイドライン（2018年改訂版）参照

かかりつけ医の「集団生活に支障がない状態」との判断を受けてからの登(所)園になります。

【潜伏期間】 4～14日

【感染しやすい期間】 発しん出現前の1週間

● ご家庭で気をつけること

- 直射日光にあたりたり、入浴をすると赤みが強くなったり、発しんが長引くことがあります。

- 妊婦さんがかかると、胎児に影響することがあります。
流行中は送迎等をなるべく避けるか、マスクを装着しましょう。

- 日常的に手洗いや咳エチケットに努めましょう。

